

いい日旅立ち

私立高校単願（推薦・専願）受験生への「募集要項」

私立高校単願（推薦・専願）受験生への「募集要項」は当初、12月18日（水）に配付し12月23日（月）までに願書を提出していただく計画でした。

しかし、本校生徒関係分の高校の全ての「募集要項」が手に入りましたので、5日ほど早いのですが、本日、該当生徒に配付しております。

願書の提出締め切り日は12月23日（月）と変更しませんが、願書は冬休み中の郵送となります。23日（月）までに点検し、ミスがあった場合は、24日（火）までに訂正していただき、25日（水）に訂正した願書を中学校へ提出していただかなければ、高校側で設定している提出締切日に間にあいません。提出期限厳守をお願いします。

なお、昨年度から私立高校の入力情報の訂正は、保護者が直接、各私立高校へ問い合わせいただき、高校側の指示通りに訂正することとなっております。

心配な保護者は、1日でも早く中学校に願書を提出していただけたなら、ゆとりをもって訂正もできると思います。

※ 私立高校のWeb入力は、受験料を納入するまでは簡単に訂正ができますが、受験料納入後は訂正がきかないシステムとなっております。（ただし、受験料を納入しなければ願書を印刷することもできません。）お気をつけください。

この進路通信をHPで閲覧されている1・2年生の保護者もいるとのこと…

私立高校を単願（推薦・専願）で受験する生徒は、一昔前までは10名程度でしたが、今年度、本校では30名を超えました。

また、この数に広域通信制高校を単願（推薦・専願）で受験する生徒を加えると50名を超えております。

更に、公立高校と私立高校を併願する生徒の中にも私立高校を第1志望としている生徒がたくさんおります。

国の就学支援金制度、エアコン設置の有無、食堂の完備、講習の充実…等、色々な要素が影響していると思われますが、現在、「私立高校に追い風が吹いている。」と言っても過言ではありません。また、一部の公立高校では、生徒募集に大変、苦勞をしていると耳にします。

生徒の進学先は、一昔前と大きく変化していることをお知りおきください。

●12月5日(木)の3年〇組の教室にて

12月5日(木)の3年〇組の授業が少し早く終了したため、残り時間を自習とする予定でしたが、その前に進路に関する連絡として、「(担任の先生から聞いているとは思いますが、)明日から道立高校のWeb入力が可能となるため、しっかりと入力し、12月20日(金)までに『仮の願書』を印刷して提出すること。」伝えました。

すると、「自分で入力するのですか?」、「願書の印刷はどうやるのですか?」、「スマホの場合、プリンターとどのように接続すればよいのですか?」…と心配な質問が多々ありました。

進路通信132号(11月25日発行)の「道立高校Web出願 入力内容確認用紙」をよく読んで、情報を入力してください。

最も気をつけて欲しいことは、「申請」ボタンはクリックせず、データを「一時保存」しておくことです。「申請」ボタンは、中学校の点検後にクリックしてください。

※ データの「一時保存」の際に、入力を再開させるためのパスワードが必要です。

パスワードは自分で設定してください。パスワードを忘れた場合は、入力の再開はできなくなり、もう一度、最初からやり直しとなります。その場合、中学校で行った「仮の願書」の点検作業も無駄なものとなります。

@coffee break アリコット数列

小学校の高学年向けの算数問題です。?に入る数字は何でしょうか。(ヒントは「約数」です。)

問題 34 → 20 → 22 → 14 → 10 → 8 → 7 → ?

- 解法**
- ① 34の約数は1、2、17、34です。元の34以外の合計は20となります。
 - ② 20の約数は1、2、4、5、10、20です。元の20以外の合計は22となります。
 - ③ 22の約数は1、2、11、22です。元の22以外の合計は14となります。
 - ④ 同様の計算を続けると「10」、「8」、「7」となります。
 - ⑤ 最後に7の約数は1、7です。元の7以外の合計は1となり、?は1です。

こうした数列を「アリコット数列」といいます。なお、1の次は0となり、34のアリコット数列は0をもって終了となります。

また、6からのアリコット数列は、6の約数が1、2、3、6で、元の6以外の合計は6となることから、6→6→6→…となります。(この場合の「6」を完全数といいます。)

一方、220からのアリコット数列は、220→284→220→284→…となります。(この場合の「220と284」を友愛数といいます。)

最後にアリコット数列に興味をもたれた方は、95のアリコット数列を求めてみましょう。

95→25→6→6→6→…となります。アリコット数列は小学校の高学年でも求められますが、とても奥が深く、解明されていないことも多々あるのです。